

9月第1例会(南山クラブと合同)報告

日時:9月11日(木)・18:45-20:30

場所:南山幼稚園

恒例の「リーダー激励会」開催の南山クラブと合同例会は、リーダー、グランパス、東海、名古屋クラブなど40人余を集め、9月11日午後6時45分から、大西中部部長、郷戸書記をお迎えして、新装なった南山幼稚園で行われた。

会は南山の荒川さんの司会で進行、大西部長の「現在の中部の会員数111名を120名に」の檄に、各クラブの会長は神妙な面持ちでクラブの近況を発表する。その中でグランパス松原会長の「海外にぶらりと出かけた時、現地で日本の若者をあまり見かけない。案内板には英語は勿論、中国語・韓国語はあるが、日本語が表示されていない国がある」とのお話は、2001年から2013年の在米留学生数は中国3.9倍、韓国1.5倍に対し日本は0.4倍と巷間取りざたされている「最近の日本の若者は内向き志向」を証明しているようである。そんなの私たちではないよ、とリーダーたちの力強い自己紹介を終えて懇親会が始まった。



(大西中部部長のごあいさつ、みなさん神妙に・・・)



野外でのバーベキューを予定していたが、空模様が怪しくなり急遽3階の会議室に会場を変更する。テーブルにまとめて並べられた料理を自由に取って食べる立食パーティー形式は気ままで良い。グランパスは来年の4月頃、3回目の東北旅行を計画していますので参加者募集、東海クラブは10月13日「根ノ上まつり」開催、とそれ

ぞれアピールする。

南山幼稚園園長の東田さんは、「昔は敬遠していた園児が改装した幼稚園のトイレで用を足してくれるようになった」とのスピーチを聞き、早速写真を撮った。右は新装なったトイレ、かくれんぼが出来そうである。

午後8時半ごろ散会した。



9月第2例会報告

日時:9月25日(木)・18:45-20:00

場所:名古屋YMCA会議室

1. 連絡事項・島崎

(1) 10月第1例会

議題「今後のクラブについて協議」

(2) ワイズポテト引取り

10月18日(土) 南山YMCA 到着・時間未定。

荷受け作業参加・鈴木、島崎

代金は第1例会(10/9)に集金。

(3) 1 チャータークラブ設立

名古屋5クラブで1チャータクラブの設立について説明のため、第2例会(10/23)に大西中部部長が出席される。

(4) 各種行事案内

a. チャリティーラン

b. 11月第1例会

想念寺住職の卓話を予定する。小澤さんに講師要請を依頼し、回答の可否は会長に連絡する。

c. 第1回YMCA大会

以上、詳細は1面参照のこと。

(5) 11月29日(土)、中部評議会・YYフォーラム開催の予定が、名古屋YMCA大会のため日程調整中です。

(6) クリスマス例会は、12月担当の小澤・櫛田で場所を早めに決めてください。

陶芸教室

3回目の陶芸教室が9月27日(土)、土岐市下石の佐渡山工房でグランパスの荒川・服部・早川さんとわがクラブから後藤・島崎・櫛田が参加して陶芸教室が開かれた。後藤君とわたしの高校同期の佐渡山先生と助手に森君が参加して午前10時半ごろから作陶が始まった。初参加は早川さん、噂によると先に始めた両名の作品を「こ

んなものか」とけなしたことで連れてこられたとか。



(佐渡山先生(右端)から説明を受ける生徒さんたち)

その早川さんの作品は「箸立」とのことで先生から形状、作り方などを教えてもらいながら粘土をこね、丸棒で平らにした粘土を切り出し長方形の板を4枚作り、4角の型に沿わせて貼りあわせて出来上がった正4角柱に底板を付け、粘土が固まったら型を抜き完成する。



(大作に挑む島崎さん、下の写真真ん中手前はサラダボール)



黙々と作る人、先生と相談しながら作る人、ビールを飲みながら作る人、作業台には様々な姿の半製品が置かれている。はて、これは何になるのかな、と思う物が、やがて丸い「香炉」になり、巨大なボールになる。先生からは「みなさん熱心で器用」とのお言葉。今回はみなさん作る物をあらかじめ決めてきている。奥さんの要望もあるらしく、荒川さんは「香炉」、服部さんはオレンジの「絞り器」、島崎さんは「サラダボール」、ここに通うこと7年になるわたしは缶ビールを片手に「さて、きょうは何を作ろう」と思案することから始まる。この7年

間に作った大小の皿が、わが家の庭の土止めに使われていることを深く反省します。

土を練り、形になった物を素焼きし、11月頃にまた来ていただき、模様や絵を描いて釉薬を掛け、本焼きしたら完成です。それまでお楽しみに。

(楢田 守隆)

最近の新聞から

◇沖縄にレアメタル眠る?(9/21・日経)

海上保安庁は沖縄久米島沖の海底からチムニーが、45ヘクタールにわたり分布しているのを見つけたと発表した。同庁は日本周辺で確認されたチムニー群では最大規模らしく、担当者は「地中に金や銀、レアメタル(希少金属)の鉱床が眠っている可能性がある」と期待を示している。◇チムニーとは煙突、登山用語で上下に走る岸壁の割れ目など色々な意味があるが、ここでは「海底から噴き出す熱水に溶けている銅や鉛、亜鉛、鉄などの金属が低温の海水と反応、沈殿して形成される柱状の構造物」である。◇2010年世界で9割のレアアースを産出する中国は、公害抑制と資源保護を理由に輸出規制を導入したため、日米欧がWTO(世界貿易機関)へ協定違反と訴え2014年8月7日にWTO違反が確定した。◇その間、日本は代替原料の開発、リサイクルなどに取り組み、使用量はピーク時の6割まで減った。調達先もインドやベトナム、カザフスタンなどと共同生産するなどの多様化が進み、2010年中国からの輸入量82%が、2012年には49%とわずか2年で急減した。お蔭で中国のレアアース業界は輸出不振、生産過剰により価格が下落、10年に起きた尖閣の報復は失敗だった。◇人民日報は「清は日清戦争後の下関条約で沖縄を奪われた。日本はポツダム宣言を受諾した以上、沖縄の帰属について議論すべき」と報じている。もうすぐ久米島海域に中国の漁船が来ることか。◇男の子は立ってするもの(9/22・日経夕刊)

日経夕刊月曜の生活欄に「女と男のいい分 イーブンの見出しで、あるテーマ例えば「飲み会での気配り」を20代既婚男子と30代独身女子の言い分を競わせている。22日は「トイレの攻防」をテーマにアラフォー既婚とバブル世代既婚が、家庭用洋式トイレで男子は立ってするのか座ってするのかの主張である。◇日本の家から男性用小便器が消え、洋便器しかないケースが増え男の子がいる家庭では、背が低くて届かない頃お母さんに「座って下さい」と教えられた。大きくなっても便器の縁や周囲の床に飛び散り掃除が大変と、座ることを父親にも強要するのは如何なものか、とは沽券(こけん)を大事にする男性陣の叫び。さらに大が終わった後、消臭剤を使われるのにはウンざりとか、ご同情申し上げます。◇年に数回、3人の子どもが夫婦ともども孫を連れ、女6人

に男3人がわが家に集合して1泊する。トイレに行く度に馬蹄形の便座が閉まっているが、たまに開いている時は、なぜかほっとする。

◇バター、脱脂粉乳を緊急輸入(9/27・中日)

農水省は26日、生乳の国内生産量が減って価格が上がっているため、業務用バターと脱脂粉乳を緊急輸入すると発表した。◇脱脂粉乳で思い出すのが、小学校3年から始まった学校給食である。アメリカ、カナダなどの民間ボランティア団体が送ってくれた「ララ物資」は、食料品・医薬品、日用品など不足していた終戦直後の日本を救ってくれた。その中の脱脂粉乳は栄養状態の悪化した多くの子どもたちを救ったと言われているが……。◇いくら物資が不足していた時代とは言え、あんな不味いものはなかった。残すと先生に怒られ、[欲しい子]にあげたら、バテて無理に飲まされ下痢をした。翌日は休み、翌々日、翌々日は学校に行かなかった。4日目に母親が学校に出向いたが「進駐軍から頂いたものだから」と諭されて帰ってきた。◇以後、飲んででは下痢、飲んででは下痢で父親が校長と会い、給食で配給された分を持ち帰ることで納まった。それからはカバンに空のウイスキーのポケット瓶を入れて通学した。いまま牛乳を飲むと下痢をすることがある。

(櫛田 守隆)

聖書の言葉

【もし他国があなたがたの国に寄留して共にいるならば、これを虐げてはならない。あなたがたと共にいる寄留の他国人を、あなたがたと同じ国に生まれた者のようにし、あなた自身のようにこれを愛さなければならない。あなたがたもかつてはエジプトの国で他国人であったからである。わたしはあなたがたの神、主である。(旧約聖書レビ記19:33-34)】

【この地に住む他国の者に意地悪をしてはならない。他国の者であろうとも、自分たちと同じように接するように。差別するな。彼らを愛せよ。おまえたちも、かつては他国に住んでいたことがあるのだから。(幻冬舎発行 白取春彦著「超訳 聖書の言葉」)】

【9月18日付の日経新聞は、「ポピュリズムの脅威 欧州で極右が躍進」の見出しで、フィナンシャル・タイムズの記事を紹介している。書き出だしは『スウェーデンとドイツは欧州でも民主主義が強固で経済的に繁栄している国だが、14日の選挙で過激な右派政党が躍進した。豊かさや効率的な政治モデルである両国も欧州に広がるウイルスに感染していることがわかった。』とある。スウェーデンは反移民を掲げた極右政党の「民主党」が、初の中央政界進出を果たした2010年の投票率5.7%を上回る12.9%を獲得し第3党にのし上る。ドイツでは2州の

議会選に2013年結成した「ドイツのための選択肢(AfD)」が、反EUのほか難民および移民政策の批判をテーマにして両州で「緑の党」を上回る得票率を獲得した。フランスは反EU・移民排斥の「国民戦線」、イスラム移民の排斥を掲げトルコのEU加盟に反対するオランダの「自由党」、以下オーストリア「自由党」・イギリス「国民党」・イタリア「国民同盟」など極右組織は一律に移民排斥を掲げて活動している。なお、フランスの国民戦線、イギリスの国民党は、日本の移民制限法を模範にすべき、と主張しているが、これから日本はどうする?。】

Zoom・一条縞蚊

9月3日付新聞各紙掲載のコラムは、デング熱を媒介する蚊にまつわる蘊蓄(うんちく)が起句である。読売「編集手帳」・病床で蚊の攻撃に難儀した正岡子規の随筆、日経「春秋」・米国の感染症研究者スピールマン氏の警告、朝日「天声人語」・歌舞伎「助六由縁江戸」の口上にあることば瘡(おこり)はマラリアを指す、産経「産経抄」・小泉八雲は小さな虫を愛したが蚊は苦手だった。◆枕草子に「にくきもの(不快なもの)」に「急用がある時に来て長居をする客」、「酒を飲んで騒いだあと鼾をかいて寝る男」、「人の話を聞こうとしたときに泣き出す赤ん坊」などと言いたい放題、「ねぶたしと思ひて臥したるに、蚊の細声にわびしげに名のりて、顔のほどに飛びありく。羽風さへ、その身のほどにあるこそ、いとにくけれ。」と蚊にも八つ当たりである。◆「清少納言は高慢で我慢ならない人。利口ぶって漢字を書いているが、まだまだ不十分なのが沢山ある」と批判している紫式部は、光源氏が瘡を病み加持のため北山を訪れ、恋い焦がれる藤壺そっくりな少女に出会う、というくだりを書いている。当時の日本は現在より海面が50cmほど高く温暖な気候で、ハマダラカが媒介するマラリアは一般的な病気だったらしい。◆発生報告義務がある「4類感染症」のうち、蚊が媒介するのは西ナイル熱、デング熱、チクングニア熱と明治初期が初症例の日本脳炎、クレオパトラや光源氏を悩ませたマラリアの5つである。歴史ある? マラリア・日本脳炎はワクチンがあり発症リスクは低くなったが、ほかの3疾患にはワクチンも治療薬も未だなく、日本ではヒトスジシマカに刺されないよう身を守るしかない。◆ヒトスジシマカは、東南アジアが起源のヤブカで1946年の分布北限は栃木県北部、1960年代に仙台市、2010年には岩手・秋田県まで北上する。またこの蚊は、9、10月に産卵し翌年3、4月に孵化するが、マレーシアで孵化した幼虫からウイルスが検出されたとの報告がある。日本の分布域が拡大し、個体数が増加すれば、ヒトスジシマカが媒介する感染症が東南アジア並みに流行する時が来るかもしれない。